

若者たちに職業観・勤労観の醸成を 第1回「キャリア教育アワード」が決定

経産省

経済産業省はこのたび、昨年8月に創設した「キャリア教育アワード」の第1回受賞企業を発表。最優秀賞には、パナソニック株式会社（大阪府門真市）が輝いた。

中学生「自分再発見」プロジェクト

小宮山審査委員長賞 同所は、横須賀市教育委員会や横須賀市には、横須賀商工会議所（神奈川県）が取り組む「中学生「自分再発見」プロジェクト」が発見された。職員とキャリア教育コーディネーターが、中学校の総合的な学習の時間を活用し、子どもたちの職業観・勤労観の醸成を目的とした教育プログラムを1年を通して実施している。具体的には、



整体師から指導を受ける中学生

マイタウンティーチャー（MTT）と呼ばれる地域の事業所で働く大人を派遣し、子ども

たちに自社の仕事を紹介しながら働くことについてディスカッションする授業プログラムなどを実施。また、職場体験の受け入れ先の開拓や、ビジネスマネージャーなどの研修支援も行っている。

ジュニアエコノミーカーレッジ

松商工会議所青年部

優秀賞には、会津若立、資金の調達、商品企画・製造・販売、決算、納税、給与・配



子どもたちを運営するシステムも構築するなど、実際の商いに沿ったカリキュラムを提供している。

※第1回キャリア教育アワード受賞

20110309001.html)を参照。問い合わせは、同省産業人材政策室 (http://www.meti.go.jp/press/20110309001/20110309001.htm) まで